

九州地方小委員会の概要と意見

□開催日時

令和3年3月10日（水）15:00～16:30

□場所

九州地方整備局（福岡第二合同庁舎）2階共用会議室

□委員名簿

氏名	所属・役職	出席
いけうち ひろこ 池内 比呂子	（一社）九州経済連合会 理事 （株）テノ、ホールディングス 代表取締役社長	
いしばし ともや 石橋 知也	長崎大学大学院 工学研究科 准教授	○
くわの いすみ 桑野 和泉	（一社）由布市まちづくり観光局 代表理事	○
ささがわ みちこ 笹川 理子	弁護士法人 笹川法律事務所 弁護士	○
しまもと ひろし 嶋本 寛	宮崎大学 工学教育研究部 社会環境システム工学科 准教授	○
てらまち けんいち 寺町 賢一	九州工業大学大学院 工学研究院 建設社会工学研究系 准教授	○
とだ じゅんいちろう 戸田 順一郎	佐賀大学 経済学部 准教授	○
まつなが ちあき 松永 千晶	福岡女子大学 国際文理学部 環境科学科 准教授	○
【委員長】 まるやま たくや 円山 琢也	熊本大学 くまもと水循環・減災研究教育センター 准教授	○
よしだ 吉田 まりえ	九州の暮らし創造研究所 代表	○

□対象事業

- 一般国道218号（九州横断自動車道延岡線）高千穂雲海橋道路
- 一般国道57号（熊本天草幹線道路）宇土三角道路

□議事概要（各委員からの意見）

【一般国道218号（九州横断自動車道延岡線）高千穂雲海橋道路】

- 国道218号は緊急輸送ルートにも指定される重要な道路で、大規模災害等で現道が途絶した場合は迂回路が広域に及ぶため、リダンダンシーの観点でも必要性が高い。
- 現道の雲海橋は架橋から約50年経過し、大規模補修等で通行止めとなった場合、社会的影響が大きく、また大型車等の交通が新たな道路に転換することで、橋梁維持管理費の低減が期待できる。
- 高千穂地区周辺は観光地が点在し、休日の観光渋滞が課題であり、整備効果として考えられる休日交通の影響はB/Cの数値には反映していないものの、観光渋滞の緩和等に期待ができる。

【一般国道57号（熊本天草幹線道路）宇土三角道路】

- これまでの宇土半島の交通の途絶による宇城・天草地域の約5万世帯の孤立は社会的影響も大きく、重く受け止めるべきであり、ネットワークとして非常に重要である。
- 当該区間の現道の交通特性は、熊本市と天草市間の結びつきが強いなど広域交通を担っており、B/Cについては、広域な拠点間を結ぶネットワークとして評価することが妥当である。
- 事業費については、不確定要素が考えられるため、引き続き、詳細な調査をしっかりと行うとともに、コスト縮減も検討すること。

□結論

一般国道218号（九州横断自動車道延岡線）高千穂雲海橋道路
一般国道57号（熊本天草幹線道路）宇土三角道路
の新規事業化については妥当である。